

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3305		
科目名	財政学		
担当教員	古川 晴之		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開科目		
科目小分類			
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1 - E [学識・専門技能]専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>D P 4 - I [理解力・分析力]文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 E 1 学識・専門技術 (50%) I 1 理解・分析と読解 (30%) I 2 量的分析 (20%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ~ 4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>財政とは、国や地方自治体などの公共部門の経済活動のことであり、保育・教育から年金・福祉、環境問題まで実に国民生活の広範にわたる。本講義では、財政制度及びその理論の理解の上に、現在の日本が直面する財政の諸問題を評価できることを目的とします。また、政府の経済活動である財政は、その時々政治体制の影響のもとで行われ、かつ市場や社会の状況によって大きく左右されることを考慮しながら、財政が抱えるリスクを回避するための方法論について講義形式で授業を進めます。</p> <p>なお、授業形態は講義形式により、オンライン（オンデマンド型）にて行います。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。</p> <p>(キーワード) 財政の役割・財政制度・財政民主主義・一般会計・租税原則・消費税・財政赤字・プライマリーバランス・年金制度</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 私たちの生活は、財政と深く結びついていることを認識し、私たちは財政を支える責任と義務があり、財政から大きな恩恵を受けていることを学び、財政の役割を理解し社会的厚生を最大化できる社会人、危機管理担当者になりましょう。</p> <p>■授業の目的 現代財政の重要課題を解明するために必要な、財政に関する理論・制度・政策・歴史の知識を修得し、財政にかかわる問題の発生メカニズムと解決の糸口を見いだすための理論を学習する。財政システムが抱える構造問題を抽出し、課題への対処のあり方について論理的に分析し、その問題に対する判断力を養うことを目的とします。</p> <p>■授業のポイント 現代の政府は、どのような経済活動をしているのか。 市場メカニズムを前提としながら、政府はなぜさまざまな経済活動を行う必要があるのか。</p>		

	政府のあるべき経済活動は、どのような観点から行うべきか。 以上のような問題に対して、主に、政府支出や税金、公債発行という観点からミクロ・マクロ的分析を行います。												
総合到達目標	学問としての財政学の大系を修得し、さらに、わが国財政が抱える諸問題の発生原因について基本的な理論を修得出来る。また、わが国の財政に関する問題意識を構築し、学修した理論を応用して財政問題にアプローチする力を育成し、財政問題への対処のあり方について、自分なりの視点から論ずることが出来る。												
成績評価方法	<p>■リアクションペーパー3回(40%)：適用ルーブリック：I1・I3 (評価の観点) 財政制度および財政問題に係わる論述問題ないし客観問題により、学識と分析力を問います。 (フィードバックの方法) 回収後、正答を確認しつつ、関連の知識をおさらいします。</p> <p>■レポート2回(60%)：適用ルーブリック：E1・I1・I3 (評価の観点) 財政制度と日本財政の課題に係わるレポートにより、財政的課題を的確に把握しさらに課題への対処のあり方を、論理的に論じる学識と分析力を問います。発想の豊かさ、知識の正確さ、回答の構成と表現が適切かどうか評価します。 (フィードバックの方法) 模範レポートを示しつつ、関連の知識をおさらいします。</p>												
履修条件	経済学1(RMGT/SSCS1137)、経済学2(RMGT/SSCS1138)の両科目、またはどちらかを履修しておいて下さい。												
履修上の注意点	講義前にポータルを通じてレジメを配付するので、必ず講義を受ける前にレジメをプリントアウトして講義に臨んで下さい。												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>【オリエンテーション】授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて財政学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ 「財政の三大機能、I. 財政の資源配分機能」</p> <p>②授業概要 市場の機能とメリット、市場の失敗、市場の失敗と財政機能との関係を学修し、財政の役割(資源配分の機能)の意義を説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第1章の「1. 財政と財政学の歴史」「2. 財政と資源配分」を読み、内容を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、資源配分の意義を市場の失敗と関連づけて、自分なりの考察をまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>①授業テーマ 「II. 財政の所得再分配機能、III. 財政の経済安定化機能」</p> <p>②授業概要 市場の失敗と所得分配の現状、景気循環の推移の観察から、財政のその他の機能(所得再分配機能、経済安定化機能)を学修し、その役割の意義を説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第1章の「3. 財政と所得再分配機能」、「4. 財政と安定機能」を読み、所得分配の現状と所得再分配の意義、さらに、経済安定機能の意義を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、わが国における所得格差の推移データを参考に、格差を生じさせる原因は何か、自分なりの考察をまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> <p>①授業テーマ 「財政民主主義とわが国の予算制度」</p> <p>②授業概要 「財政民主主義」の意義とわが国の法規定、「わが国の予算制度」の仕組みと特徴について理解し、説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第2章の「1. 財政民主主義」、「2. 予算制度」を読み、財政民主主義の概念、税や予算などの財政活動を規定する法制度、予算制度を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、税や予算が法律で規定されているのはなぜかについて、自分なりの考察をまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td>5</td> <td> <p>①授業テーマ 「予算の種類、予算原則と財政支出の理論」</p> <p>②授業概要</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	【オリエンテーション】授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて財政学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。	2	<p>①授業テーマ 「財政の三大機能、I. 財政の資源配分機能」</p> <p>②授業概要 市場の機能とメリット、市場の失敗、市場の失敗と財政機能との関係を学修し、財政の役割(資源配分の機能)の意義を説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第1章の「1. 財政と財政学の歴史」「2. 財政と資源配分」を読み、内容を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、資源配分の意義を市場の失敗と関連づけて、自分なりの考察をまとめる。</p>	3	<p>①授業テーマ 「II. 財政の所得再分配機能、III. 財政の経済安定化機能」</p> <p>②授業概要 市場の失敗と所得分配の現状、景気循環の推移の観察から、財政のその他の機能(所得再分配機能、経済安定化機能)を学修し、その役割の意義を説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第1章の「3. 財政と所得再分配機能」、「4. 財政と安定機能」を読み、所得分配の現状と所得再分配の意義、さらに、経済安定機能の意義を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、わが国における所得格差の推移データを参考に、格差を生じさせる原因は何か、自分なりの考察をまとめる。</p>	4	<p>①授業テーマ 「財政民主主義とわが国の予算制度」</p> <p>②授業概要 「財政民主主義」の意義とわが国の法規定、「わが国の予算制度」の仕組みと特徴について理解し、説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第2章の「1. 財政民主主義」、「2. 予算制度」を読み、財政民主主義の概念、税や予算などの財政活動を規定する法制度、予算制度を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、税や予算が法律で規定されているのはなぜかについて、自分なりの考察をまとめる。</p>	5	<p>①授業テーマ 「予算の種類、予算原則と財政支出の理論」</p> <p>②授業概要</p>
回	内容												
1	【オリエンテーション】授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて財政学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。												
2	<p>①授業テーマ 「財政の三大機能、I. 財政の資源配分機能」</p> <p>②授業概要 市場の機能とメリット、市場の失敗、市場の失敗と財政機能との関係を学修し、財政の役割(資源配分の機能)の意義を説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第1章の「1. 財政と財政学の歴史」「2. 財政と資源配分」を読み、内容を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、資源配分の意義を市場の失敗と関連づけて、自分なりの考察をまとめる。</p>												
3	<p>①授業テーマ 「II. 財政の所得再分配機能、III. 財政の経済安定化機能」</p> <p>②授業概要 市場の失敗と所得分配の現状、景気循環の推移の観察から、財政のその他の機能(所得再分配機能、経済安定化機能)を学修し、その役割の意義を説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第1章の「3. 財政と所得再分配機能」、「4. 財政と安定機能」を読み、所得分配の現状と所得再分配の意義、さらに、経済安定機能の意義を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、わが国における所得格差の推移データを参考に、格差を生じさせる原因は何か、自分なりの考察をまとめる。</p>												
4	<p>①授業テーマ 「財政民主主義とわが国の予算制度」</p> <p>②授業概要 「財政民主主義」の意義とわが国の法規定、「わが国の予算制度」の仕組みと特徴について理解し、説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第2章の「1. 財政民主主義」、「2. 予算制度」を読み、財政民主主義の概念、税や予算などの財政活動を規定する法制度、予算制度を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、税や予算が法律で規定されているのはなぜかについて、自分なりの考察をまとめる。</p>												
5	<p>①授業テーマ 「予算の種類、予算原則と財政支出の理論」</p> <p>②授業概要</p>												

	<p>普遍的「予算原則」とは何か、「財政支出の理論」、について学修し、原則の意義と地方分権を含めた政府支出に求められる経済効率の意義について説明できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第2章の「3. 予算原則」、第3章の「1. 政府支出の理論」を読み、内容を考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認し、伝統的予算原則の内容を整理し、予算原則の意義について自分なりの考察をまとめる。 また、公共財の最適供給と地方分権の関係について、自分なりの考察をまとめる。</p>
6	<p>①授業テーマ 「日本の財政（政府）支出の構造」</p> <p>②授業概要 わが国の一般会計予算における経費の分類方法、経費構造の特徴と問題点を学修し、これらを説明できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第3章の「3. 政府支出の構造」を読み、わが国の経費の分類について考察する。</p> <p>④復習（120分） わが国の政府支出の構造と歴史的な移り変わり（戦中→戦後→現在）を、予算の主要系別分類に基づいて自分なりの考察をまとめる。</p>
7	<p>①授業テーマ 「税の役割と租税原則と公平な税」</p> <p>②授業概要 税金がなぜ存在するのか、また、その課税はどうあるべきなのかアダム・スミス、ワグナーの伝統的租税原則論を学修し、現代の租税原則の収斂と内容、意義を解説できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第4章「1. 税の役割と租税原則」、「2. 公平な税とは」を読み、内容について考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認して、スミスとワグナーの租税原則の相違点を指摘し、相違点を両者の活躍した時代背景から捉え、自分なりの考察をまとめる。</p>
8	<p>①授業テーマ 「日本の租税構造」</p> <p>②授業概要 租税原則を具現化して、「日本の租税構造」について学修し、理論的に解説が出来る。</p> <p>③予習（120分） 教科書第4章の「4. 日本の租税構造」を読み、内容について考察する。</p> <p>④復習（120分） 1989年にわが国は消費税を導入したが、その際、物品税が廃止された。このような間接税の改革は経済効率の改善につながると言えるが、その理由について自分なりの考察をまとめる。</p>
9	<p>①授業テーマ 「日本の所得税」</p> <p>②授業概要 わが国の「所得税」の仕組みを主要諸国のものと比較して特徴と問題点について説明できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第4章の「5. 所得税」を読み、その構造と特徴について考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認して、わが国の所得税の特徴を税率構造、課税最低限などの点から自分なりの考察をまとめる。 レポート提出課題「所得課税において累進課税方式が採用されている根拠と、さらに超過累進課税方式が採用されている理由を論じよ。」（A4版1枚、1,000文字程度）、提出先、提出期限等の詳細はポータルにて提示します。→フィードバックの方法（模範レポートを示しつつ、関連知識のおさらいをします。）</p>
10	<p>①授業テーマ 「日本の消費税（付加価値税）」</p> <p>②授業概要 わが国の「消費税」の仕組みを主要諸国のものと比較して特徴と問題点について説明できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第4章の「6. 消費税」を読み、その構造と特徴について考察する。</p> <p>④復習（120分）</p>

	消費税の負担はなぜ逆進的となるのか。また、逆進性を緩和する手段と、緩和にともなう問題点について自分なりの考察をまとめる。
11	<p>①授業テーマ 「日本の公債問題」</p> <p>②授業概要 公債の定義、種類、発行方法、償還方法を学修し、説明できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第5章の「1. 公債の定義と種類」、「2. 公債の発行方法および償還方法」を読み、内容について考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認して、公債発行に関するわが国の財政規定を確認し、その財政規定の根拠について自分なりの考察をまとめる。</p>
12	<p>①授業テーマ 「公債累増の現状とその問題点」</p> <p>②授業概要 わが国の公債発行の推移と累増、発行と累増によって生じる様々な問題点について学修し、解説できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第5章の「4. 公債累増の問題点」、「5. 日本の財政状況と公債発行の推移」を読み、わが国の公債残高の状況を踏まえて累増の問題点を考察する。</p> <p>④復習（120分） レポート提出課題「プライマリー・バランスの概念を踏まえて、わが国の財政再建に求められることは何か、自分なりの考察をまとめよ。」（A4版1枚、1,000文字程度）、提出先、提出期限等の詳細はポータルにて提示します。→フィードバックの方法（模範レポートを示しつつ、関連知識のおさらいをします。）</p>
13	<p>①授業テーマ 「超高齢社会における社会保障財政と年金財政」</p> <p>②授業概要 社会保障制度形成と財政の関係、社会保障財政に係わる「公的年金」の意義と現状、問題点、制度改革について考察し学修する。 社会保障制度形成の意義、少子高齢化の進展による公的年金制度の危機的状況を回避するための制度改革の方向性について解説が出来る。</p> <p>③予習（120分） 教科書第6章の「1. 超高齢社会と社会保障」、「2. 年金保険制度と財政」を読み、社会保障の概念と意義および公的年金制度の意義と現状について考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認して、社会保障給付費の概念と一般会計予算の社会保障関係費の概念の違いと両経費の関係を確認し、社会保障関係費の一般会計予算に占める推移と現役世代（若年世代）の負担について、自分なりの考察をまとめる。 公的年金の財政方式には2つの方式があるが、それぞれの方式の特徴と問題点について、自分なりの考察をまとめる。</p>
14	<p>①授業テーマ 「社会保障財政と医療保険財政」</p> <p>②授業概要 社会保障財政に係わる「公的医療」の現状と問題点、制度改革について考察し学修する。また、公的扶助の意義と問題点を「負の所得税」の説と比較して考察し学修する。少子高齢化の進展による公的医療制度維持の危機的状況を回避するための制度改革の方向性について解説、および公的扶助制度の意義と現状について解説出来る。</p> <p>③予習（120分） 教科書第6章の「3. 医療保険制度」、「4. 公的扶助」を読み、内容について考察する。</p> <p>④復習（120分） 「医療保険制度の存在が、医療費を増加させる原因である」とも言われる。この点について自分なりの考察をまとめる。</p>
15	<p>①授業テーマ 「地方の財政問題」</p> <p>②授業の概要 「中央財政と地方財政の関係」、「地方財政の理論」について学修し、地方分権のメリット・デメリット、効率性の意義を説明できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第8章を読み、内容について考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認して、特定補助金と一般補助金の違いについて説明し地方</p>

	住民の厚生水準を引き上げるためには、特定補助金を一般補助金に変えるべきとする主張について、自分なりの考察をまとめる。
関連科目	「経済学1 RMGT/SSCS1137」、「経済学2 RMGT/SSCS1138」
教科書	楠谷・藪下・川又・斎藤編著『財政学入門』八千代出版、2018
参考書・参考URL	『図説 日本の財政』（令和2年度版）、東洋経済新報社、2020
連絡先・オフィスアワー	
研究比率	

